

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

## 2021・12月号

石川県学校生活協創立 72 年目 健康経営（健康・清潔・迅速・丁寧・挑戦・学習・笑顔）

2021年度10月末 910,345円の黒字です！

— 色々な方々のご協力に感謝いたします。 —

たかが、91万円の黒字でなぜ？と思われるかも知れませんが、私が、理事長になって初めての累計月次の黒字だからです。昨年度同期では638万円の赤字でした。今年予算同期でも929万円の赤字を予想していましたから、本当に嬉しい事です。その要因は何かなと調べてみますと、1つは売り上げが昨年以上に増えた事。昨年同期では3億6569万円だったものが、今年は3億8290万円に増えました。これはコロナ禍での組合員皆さんの購入増のお陰です。2つ目は保険手数料の交渉が進み昨年度以上の収入になった事。3つ目は職員の1名欠員状態を全職員でカバーし、補充していない事。本当は業務の負荷が増えて良くはないのですが、ぎりぎりまで努力しようと頑張っています。しかし、限界だと判断する状況が出てくれば補充します。



こうして色々なみなさんのお陰で達成できた黒字です。ですが、まだまだ不安定な黒字状態です。しかし、何としてもこの黒字状態を年度末まで維持したいと思っています。それに対して、予想される大きな壁は、「大雪」です。たとえ大雪になったとしても、皆さんに注文通りの商品を届ける努力をしますが、前回の大雪では残念ながら肝心の商品が届かなくて無理でした。今年はそうならないようにと願っています。

まずは、これまでの感謝と嬉しいお知らせを報告しました。

### 2021年10月度 ようやく経営黒字になりました！！

黒字になった大きな要因は、前年比較で見ますと、フレッシュ共同購入を中心とした自主供給と、指定店供給を併せた数字の供給剰余が205万円増加しました。住宅事業も好調で受取手数料が70万円の増収、保険料控除手数料は100万円の増収、人件費は350万円減少、雑収入は60万円増収となりました。今年度は新システムの導入で、かなりの経費がかかっていますが、10月度に念願の黒字91万円になりました。11月以降も黒字で推移する見込みです。今後も、組合員さんに喜んでいただける商品のご提案を積極的におこなっていきますので、どうぞご利用ください。よろしく願いいたします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

### 『スピノザ』

北本 豊春

論理的な思索を組み立てたデカルトの思想構成は合理的な思索としてその後の哲学者たちに示唆を与え、様々な事象や現象に関して、彼自身が決めた公理に従って定理を導き出し、順序立てて証明すると言う方策で認識しようと考えました。それは幾何学で用いられている証明の方法でした。『エチカ』を用いて精細に思索を組み立てたのです。『エチカ』を読んでいると、少々辟易する程細かく言わば執拗に証明を重ねているので、構造が入り組んでいて、難解な組み立てが困惑を招くことにもなります。複雑な証明による論理構造は、数学者だったスピノザの真骨頂です。ユダヤ教の信徒だったスピノザは、神の姿は自然の中に現れている。自然の姿が神の体現だと考えました。いわゆる汎神論です。この考え方はユダヤ教の信仰の在り方としたりに合いませんでした。そこでスピノザは教団から、異端者とされ、破門されてしまいました。スピノザには近付いてはいけないと言う苛酷な罰を受けることになりました。研究の自由確保のためにも名門ハイデルベルク大学の招聘を固辞し、ハーグに閉じ籠って、清貧の暮らしに日々を送ることになりました。この大哲学者が、天体観測に使われていた望遠鏡のレンズを磨きながら生計を立てていたと言う話はよく知られています。スピノザを慕う学生たちはハーグを訪れて教えを請いました。

### 編集後記

今年は大雪？

今年の「甘ガキは豊作」でした。今年の海は「ラニーニャ」で冷たいそうです。そして今年の「モズのはやにえ」は1.7メートルにあるそうです。大雪になる前兆のトリプルパンチです。どうも今年の冬は、大雪になりそうです。信じる信じないは自由ですが、数年前の大雪の時も同じトリプルパンチでした。私は11月16日に冬用のタイヤに替えました。通勤に1時間以上自動車に乗らなくてはならないので、11月15日から3月15日まで冬タイヤにすると決めているからです。備えあれば憂いなしですが、あの大雪は想定を超えるもので、1週間は通勤不可能でした。そのような雪にならないように祈るばかりです。（祈る道祐）